



金属AM製品実用化の最前線

(開場・受付開始 13:00~)

2026年 11月4日(水) 13:30-16:30

会場：北海道総合研究プラザ セミナー室(1F) ※対面+オンライン(Zoom配信)
(札幌市北区北19条西11丁目：アクセスは裏面に記載)

参加費
無料

製造業のDX化が進む中、3Dモデリングや3Dプリンターは不可欠なツールとなっています。本研修では、道内で紹介されたことのない金属AM技術で製作した金属製品を実用化した最新事例を紹介します。



参加申込は
こちらから

13:30-13:35

開会挨拶

講演1

東金属産業におけるLB-PBF方式の取り組み

13:35-14:35

— AM最適化設計(DfAM)から造形までの事例紹介 —

講師

東金属産業株式会社
製造本部 第二製造部
(機械課・AM課)部長

大隈 伸也 氏



講演2

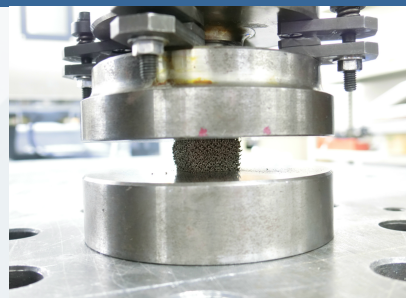
金属AM関連の規格化状況と国内外での情報収集機会の紹介

14:35-15:00

講師

産業技術環境研究本部
工業試験場
材料技術部 素形材技術G 主査

鈴木 逸人



講演3

「3Dプリンタを活用した製品開発」

15:15-16:15

— 誘導加熱コイル~AMツールへの展開 —

講師

TKE株式会社
代表取締役社長

下村 豊 氏



製造業におけるDX化・デジタル化が進む中で、3Dモデリングや3Dプリンターは不可欠なツールとなっています。しかし、海外に比べて日本国内ではその導入、活用が遅れているのが現状です。本研修では、金属AM技術で製作した金属製品を実用化した企業から事例を紹介頂きます。道内で紹介されたことのない最新事例を開発者から直接聞くことのできる貴重な機会ですので、是非ご参加ください。

WEBからのお申し込み



左のQRコード、または下記URLのお申し込みフォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/LreGq2Gik4NPgmPu8>

メールでのお申し込み

件名を「3Dデジタル造形研修 第2回 申込」として、下記の情報をメールにご記載の上、kaihatsu@hro.or.jpまでお送りください。

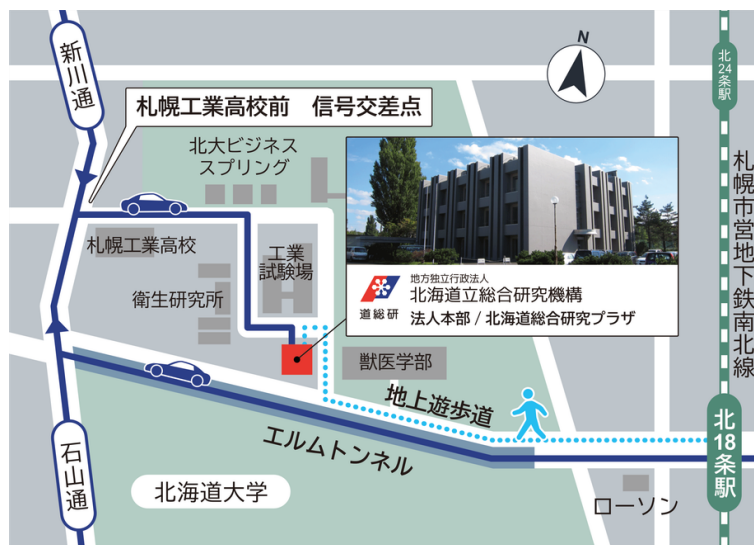
- ・ 貴社名 ・ 所在地 ・ 業種 ・ 参加者氏名（ふりがな付）
- ・ 参加者所属 ・ ご連絡先（メールアドレス、電話番号）
- ・ 参加方法（来場 or オンライン）

お申し込み締め切り日：令和8年10月28日(金)まで

お問い合わせ先

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部
ものづくり支援センター 開発推進部 ものづくり推進グループ（担当：都築、塚本）
〒060-0819 札幌市北区北19条西11丁目
電話：011-747-2324（直通） / FAX：011-726-4057 / E-mail：kaihatsu@hro.or.jp

会場へのアクセス 札幌市北区北19条西11丁目 北海道総合研究プラザ セミナー室（1F）



▶ 徒歩（約1km）

市営地下鉄南北線「北18条駅」より徒歩で約15分
※ エルムトンネルの上を通ります。
地上遊歩道をご利用ください。

▶ 車

JR「札幌駅」北口より車で約15分
※ 新川通の「札幌工業高校前信号交差点」からのみお入りいただけます。
※ 地下鉄北18条駅側から来られる場合は、**エルムトンネル**をご利用ください。

本研修は、地域活性化雇用創造プロジェクト事業の一環として実施しています。ご参加いただいた企業の皆様には、研修会終了後に雇用面での取組や、雇用実績などの調査をお願いしております。今後の取組の資質向上に役立てる目的ですので、ご協力をお願いします。

※記載していただいた個人情報は、研修・セミナー等の運営目的以外では使用いたしません。



地方独立行政法人
北海道立総合研究機構